

出 発

☆卒業生に贈る名言・格言

- 私がこの世に生まれてきたのは、私でなければできない仕事があるからなのだ。
《相田みつを》
- 迷うということは、一種の欲望からきているように思う。ああもなりたい、こうもなりたい、こういうふうに出世したい、という欲望から迷いが出てくる。それを捨て去れば問題はなくなる。《松下幸之助》
- 生きる上で最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではなく、転ぶたびに起き上がり続けることにある。
《ネルソン・マンデラ》
- 小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道。
《イチロー選手（マイアミ・マーリンズ）》
- 馬で行くことも、車で行くことも、二人で行くことも、三人で行くこともできるのだが、最後の一步は自分一人で歩かなければならない。
《ゲーテ》

卒業おめでとうございます。素敵な学年でしたね。素晴らしいエネルギーの持ち主でしたね。そして何よりも、仲の良い仲間でしたね。

荻窪中学校の目指す生徒像として、『人にやさしく自分にきびしく』を掲げています。学校教育の目的には、生徒個々の自己実現への手助けがあり、誰もが自らの未来を築き上げていくために、学びがあり、関わりがあり、そして努力があります。子どもたちは、多くの方々から愛され育てられているからこそ健やかに成長し、自らの力で前へと進むことができます。「人」は自らの考えと意志で物事を決めていきます。悩み、考えながら決断をしていきます。日常生活は決断の連続です。寒い日に布団から起き上がる時、食事をする時、登校する時刻や道筋、テレビの番組を選ぶ時、何気ない事柄であっても総て自分で決めて実行しています。だからこそ、「自分にきびしく」あることが大切とされます。決めたこととその結果をしっかりと受け取るためにも自らを信じ、自らの考えに沿って成していくことこそが「自由」であり「自律」となります。

しかしながら、「人」は自分一人だけでは生きてはいけません。日常の生活の中に、自分を取り巻く人々、自分に関係する人々、自分が関わり合いたい人々、多くの人々の力を得ながら生きています。また、自分自身の力や考えが人々の支えになり、助けていけることがたくさんあります。その力を受け入れることと、手を差し伸べることがコミュニケーションです。このコミュニケーションが存在していく処に社会が生まれ、学校は社会との関わりへの入口と言えます。だからこそ、「人にやさしく」あることを願っています。

近未来はAIが全ての源となり、人間社会はAIやロボットにとって代わられると危惧されています。しかし、そうならないと思っていますが、人としての力を高めていくことや、人であるからこそできることを止めてしまうこととなれば、この懸念は現実となっていくでしょう。力を尽くすことを止めてしまえば人の成長はありません。人として本当に必要な力を蓄え発揮し、未来を創造してほしいと願っています。

卒業は、「commencement」という言い方があります。これからの新しい生活の「始まり」を意味する言葉でもあります。この3年間のたくさんの思い出をいっぱい抱え、そして思い出を次のステージへの力にしてください。新しい生活に、大きな夢に向かって自らを信じて一步一步進んで行ってください。一度の人生です、苦しくとも楽しんでください。

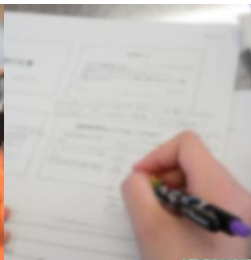
3月1日(金) 1学年 職業講話



本校、栄養士も講演して
くださいました。



善福寺公園管理センター長



管理栄養士



元証券会社勤務



SE(システムエンジニア)



臨床検査技師



理学療法士



1年生対象の職業講話がありました。今年度は12ブースを展開し、生徒たちは希望した2ブースを1時間ずつ回って講演を聞きました。どのブースでも講師の話に聞き入る生徒ばかりで、地域で働く身近な大人に触れることができ、将来を考える良い機会となりました。



雑誌編集長



動物園飼育員



荻窪警察 警察官



薬剤師



美容師



介護福祉士



講師の先生方からは、「生徒のみなさんがとても真剣に話を聞いてくれて嬉しかった。今回の機会を将来への参考にして下さい。」とお言葉をいただきました。

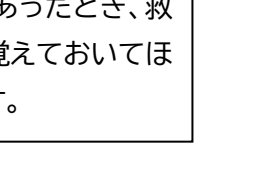
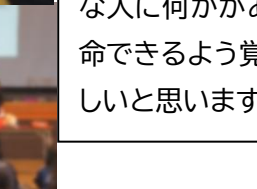
将来は自分の夢や目標を叶え、地域の未来を支える社会人へと成長してほしいと願っています。

3月4日(月) 3学年 普通救命講習



消防士の方から、救命方法等の講演があり、心肺蘇生やAEDの使い方についての体験を行いました。

これから、身近な人や大切な人に何かがあったとき、救命できるよう覚えておいてほしいと思います。



3月5日(火) 生徒会役員会主催 Flower Project



全26名の生徒会役員会・有志が主体的に活動しています。

Flower Projectは、現生徒会役員会が発案した生徒が主体となって取り組む活動です。ユニセフからいただいたキンギョソウの種子を10月から育て、春に開花させます。その花を卒業式・入学式で飾るという素敵な企画です。

昨年の10月、近隣の井荻小・桃井第三小にも種子を分け、同じ時期に開花させようと頑張りましたが、残念ながら開花には至りませんでした。そこで今回は、花の苗を購入し、プランターに移し替え、卒業式・入学式までお世話するということになりました。卒業式では、綺麗な花を飾れるよう、お世話を頑張っています。

3月5日(火) 福祉体験(手話)

1年生は⑤校時、2・3年生は⑥校時に福祉体験を行いました。



先生から、講師の先生の紹介がありました。

講師の先生は、ご自身の耳の状態や、人とのコミュニケーション方法等、手話を用いて講演してくださいました。3名の方が同時通訳してくださいました。



耳の不自由な方のコミュニケーション方法として、「口話」があります。ただし、「トラ」と「空」のように、口話では分かりづらい言葉があるため、ジェスチャーを用いてお話しすると分かりやすくなるというお話がありました。

2人の先生が、「猿はバナナが好き」という言葉をジェスチャーで表現し、会場は大盛り上がりでした。

3月8日(金) 進路体験を語る・聞く会

卒業間近の3年生12名が、1・2年生の教室を回り、自身の進路選択での体験を語りました。進路をどのように決めたか、学習に関してどのような苦労があり、それを乗り越えるためにどのような工夫をしたのか等を説明しました。



3月6日(水)～8日(金) 荻中作品展

荻中作品展を開催しました。多数のご来校ありがとうございました。
今年度は、小中一貫教育として、井荻小学校と桃井第三小学校の5年生が見学に訪れてくれました。
小学生の皆さんは、落ち着いた様子で鑑賞し、中学生の作品に見入っていました。



「1階」
多目的室
美術作品

「2階」廊下・学習室
技術・パンづくり部・書写・
3年修学旅行の作品

「3階」理科室
自由研究レポート

「4階」
被服室・ER・多目的室
家庭科・英語・1年校外学
習の作品

3月11日(月) 防災講話

東日本大震災から13年が経ちました。当時の記憶と教訓を忘れないため、杉並区では被災地で救援・復興活動に従事した警察署、消防署等の職員を派遣し、講演をする取組を行っています。本校では、荻窪消防署の方に講演していただきました。



能登半島地震で被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。この困難な時期に、皆様の安全と、少しでも早い復旧をお祈りしています。

★今後の予定★

3月19日(火)	卒業式 ※係生徒の集合時間は担当の先生から連絡があります。 【卒業生】9:20 登校【在校生係以外】9:30 登校【保護者】9:20 受付開始 開式 10:00～ (9:55～卒業生入場開始)
3月21日(木)	保護者会(1・2年生) 15:00～全体会
3月25日(月)	修了式
4月8日(月)	始業式
4月9日(火)	入学式

1年間、ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。